
神戸臨床研究情報センターを活用した

「ファーマコゲノミクス試験に係わる検体保管サービス事業」に関するご案内

(財)先端医療振興財団では、このたび、神戸臨床研究情報センター(TRI)を活用し、民間企業との共同事業として、ファーマコゲノミクス試験(遺伝子解析を伴う治験および市販後臨床試験、以下「PG試験」という)の推進に必要な検体保管サービス事業を開始します。

TRIでは、設置目的の一つとしてPG試験の支援を掲げており、検体保管室、遺伝子解析等に係わる情報システム、ウェットラボ、ドライラボなどの優れた施設・設備を備えています。

一方、近い将来、医薬品の製造承認を厚生労働省に申請する際に、有効性・安全性などに関連する遺伝子情報について、資料の添付が求められるようになる予定です。

そこで、TRIの施設・設備を有効に活用し、医薬品開発に必要な遺伝子情報を得るために使用する検体の保管を行うサービスを開始することになりました。

1. 事業名 : PG試験に係わる検体保管サービス事業
2. 設備 : 超低温フリーザー、液体窒素タンク、クーリングマスター
匿名化システム、検体管理システム等の情報システム
3. 保管予定検体 : DNA検体・血液検体等
4. 共同事業者 : 株式会社 メディビック
5. 業務開始時期 : 平成17年11月 7日

連絡先

(財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター

PG 試験支援事業事務局 奥田

TEL: 078-306-3666 (内線:2615)

FAX: 078-306-3656 E-mail: okuda@tri-kobe.org

<http://www.tri-kobe.org/index.html>

※ファーマコゲノミクス(Pharmacogenomics: PGx)

Pharmacology(薬理学)と Genomics(ゲノム学)の造語で「ゲノム薬理学」と訳されます。

※PG 試験に係わる必須文書等の作成

TRIホームページ (<http://www.tri-kobe.org/>) 「PG試験関連データベース」をご覧ください。